令和８年度　市長をかこむ会　大島地区　R8.10.11　12：30～13：31　場所：大島開発センター

出席者	住民	26人	市　大城市長・藤原税務課長 政策推進課　此上係長・石原主査

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
水産港湾課	港湾施設・道路の修繕および離合場所の整備について①学校側の波止（桟橋）の空洞化	石がずれて歩けないほど斜めになっており、内部が空洞化している。船は島民の財産であるため、手遅れになって修繕費がかさむ前に上から補修するなどの対策・現場確認をしてほしい。	波止の空洞化および道路の補修については、担当課（水産港湾課等）に伝え、後日現場確認を行いたい。 【補足】 該当の音泊防波堤の空洞化補修工事については、工事のための調査設計委託業務を実施しており、令和9年度から国庫補助事業により補修工事を着手する予定である。（水産港湾課） 【補足】 現地を確認したうえで、今後の対応策について検討したい。（建設課）
建設課	港湾施設・道路の修繕および離合場所の整備について②三王（さんのう）から渡る道路の剥がれ・空洞化	通るたびに道路が剥がれており、下部が空洞化している可能性がある。予算があまりかからない範囲で直してほしい。	
農林課 建設課	港湾施設・道路の修繕および離合場所の整備について③車同士の離合場所（待避所）の整備	地大島で車同士が行き交う（離合する）場所が1箇所もなく、すれ違いの際にバックしなければならず非常に不便である。少し車を寄せられるスペース（50cm～2m程度）を数箇所作ってほしい。	離合場所の確保については、土地の権利関係等を確認・整理した上で、車を寄せて通れるよう対応を検討する。 【補足】 大島の漁港裏沿岸の一部（約1.3キロメートル）および三王島から龍王池の区間（約4キロメートル）は、高波や高潮による浸水や海岸侵食を防ぐための施設であり、農林水産省所管の「海岸保全区域」に指定されている。この区間は堤防から20メートル以内が海岸保全区域に該当し、退避スペースの設置にあたっては県の許可が必要となるため、今後は、市、県、地元関係者で実際に現地を確認し、安全面や法規上の条件を協議した上で、施工に向けた対応を検討する。（農林課）
水産港湾課	スジアオノリ養殖施設撤退後の利活用について	事業者が養殖を行っていた跡地や水槽の今後の見通しについて確認したい。11月～12月に明浜へアオサノリ利活用の視察に行く予定があり、大島の産業として水槽等の道具を活用できないか検討している。排水による側溝のサビや傷みも確認してほしい。	事業者は天然物の価格下落等により収益化が難しく撤退を検討している。50～60個ある水槽の撤去費用がかかるため、地元で利活用してもらえるなら無償譲渡したい意向がある。 明浜への視察には水産港湾課の担当者も同行し連携して準備を進め、側溝等の状況も含めて改めて連絡・対応する。
政策推進課	地域おこし協力隊の受け入れについて	大分在住の知人夫婦（2名）が大島への移住を希望している。大島は若者が少ないため受け入れたいが、大島地区で地域おこし協力隊の募集枠を設定できないか（1名は協力隊、もう1名は漁協の補助事業等を活用するなどの方法を模索したい）。	現在市でも協力隊が活動しており担当課も力を入れている。地域おこし協力隊の担当窓口に繋ぎ、大島へ受け入れる段取りができるか確認してみる。 【補足】 大島地区への移住希望について、若者が少ない現状を踏まえ貴重な提案と認識している。ただし、地域おこし協力隊の導入にあたっては公募が原則であり、必ずしも移住希望者が採用されるわけではない点を理解していただく必要がある。また、受け入れるにあたり、協力隊員の活動内容や退任後の展望、生活支援体制の準備など、慎重に検討すべき課題が多くある。こうした課題を大島地区の皆様と協議を進めながら慎重に検討したい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
水産港湾課	防潮扉（陸こう）の開閉不具合の修繕について	防潮扉（陸こう）が人力では動かないほど重くなっており、開閉が非常に困難になっているため修繕してほしい。	扉全体を取り替えるとなると1,000万円単位の高額な費用がかかるため、内部の滑車・可動部分の修理・調整が可能か業者に問い合わせて確認中である。対応方針が決まり次第、地区（館長等）を通じて連絡する。
農林課	イノシシ被害と箱罠（捕獲罠）の補助・拡充について	イノシシが急増し、農作物（柑橘、芋など）への被害が深刻化している。 既存の箱罠は老朽化・旧型で大型のイノシシに壊されることがある上、新しく購入・設置するには個人負担（15万～20万円等）が大きい。市の方で箱罠の予算確保や補助等の支援を行ってほしい。	捕獲用の罠や支援のあり方について農林課に伝え、どのような対策や支援（罠の配分等）が可能か協議・検討を進める。 【補足】 例年、猟友会各支部をとおして要望調査を行い、箱わなの購入（貸与）を行っている。 令和8年度分は、昨年11月に要望調査を行い、大島からも大型獣用箱わな2基の要望があり、購入（貸与）に向けた準備を進めている。